

研修報告

気候変動や災害リスクの高い
トンガ王国において、
多様なセクターの連携による
効果的な事業の形を考察する

- ◆ 実務研修型
- ◆ トンガ
- ◆ 受入機関名 Tonga National Youth Congress
- ◆ 研修期間 2024年7月16日-8月14日

藤瀬 伸恵

特定非営利活動法人 地球市民の会





トンガの概要と背景

1 トンガ王国

- 太平洋島しょ国の1つ。国土が海洋に分散し、国内市場が小さく発展が難しい。
- 世界で3番目に災害に脆弱な国。気候変動の影響を受けやすく、自然災害(地震・サイクロン等)が多発。
- 2022年海底火山の噴火・津波で国民の8割が被災

2 現状/仮説

- 日本のNGOの活動が少ない
- 政府間の連携、官民の連携ができていない可能性
- 国際支援が市民レベルに届いていないのでは…

⇒今後高まる災害リスクに比例して、人道支援のニーズも高まる可能性

⇒迅速かつ効果的な支援体制の構築が必要

⇒日本のNGOとしてトンガでの活動可能性を探る

研修における団体の課題と目的:

団体の課題

- 事業・予算規模の偏り
- 他事業の実績を横展開するための人材育成・強化
- 地域の理解とネットワーキング

研修の目的

- トンガの国際支援と官民連携の現状を学ぶ
- NGOの役割を明確化し、持続可能な支援モデルを模索
- 地域の特性を理解し、現地ネットワークを構築
- 事業形成のためのスキルを育成

研修内容

- 受入機関: Tonga National Youth Congress(TNYC)
- 期間: 2024年7月16日~8月14日(30日間)
- 活動内容:
 - TNYCのプロジェクト(環境・防災・人道支援)への参加
 - 現地CSO・政府機関との連携調査
 - 国際機関の支援が市民に届く仕組みの分析
 - 研修を通じた事業立案作業





研修内容と学び

1

TNYCが実施する活動への参加

植林、ごみ拾い、防災研修、青少年育成・・・など参加活動の際の政府の関わり(許認可、協働等)
市民との関わり、どんなドナーがいるのか、トンガのNGOの関心などの疑問を実務の中で解消。

2

トンガ国内のCSO、政府機関へのインタビュー

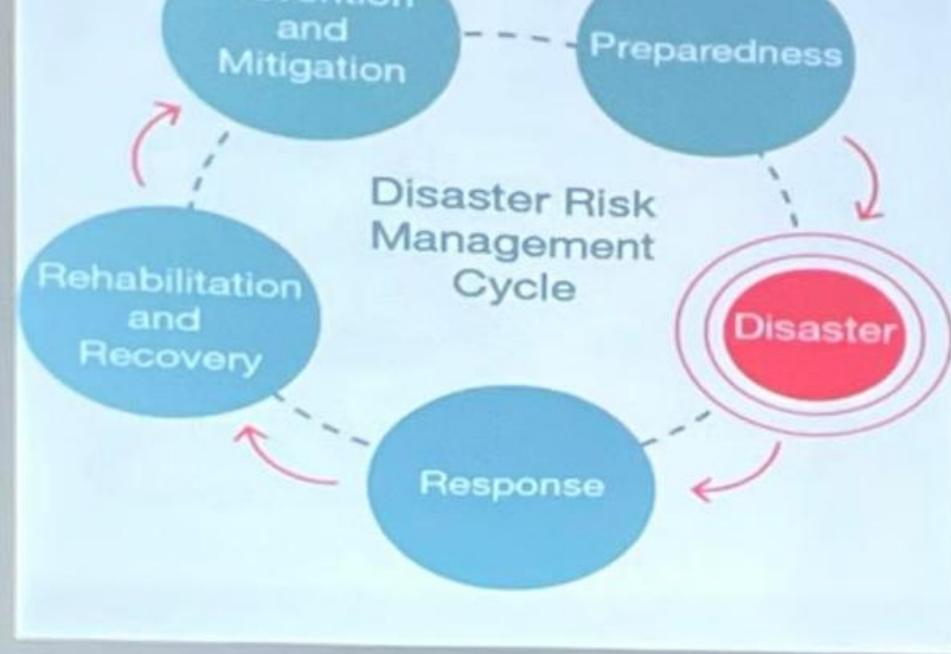
災害支援をメインとして、脆弱層の支援等を活動内容としている7つの団体へインタビュー。
2つの政府機関、関係者へインタビュー及び協議

3

研修を通じた事業立案

トンガにおけるニーズや課題は何か。配慮すべきことは何か 等立案の過程を学ぶ

トンガにおけるCSO -連携の視点



CSO/NGO ◎

CSO同士の協力関係がある。また活動の重複等を予防・調整する中間支援機能もある。

政府 ○

日ごろから災害対応や市民活動においても政府との連携もある活動の重複等が課題となっている。

コミュニティ・市民 ○

教会を中心にコミュニティとの関係も深く、地域の若者グループや女性グループなどからも声を拾っている。ボトムアップアプローチで政策に反映していくプロセスも機能している。

災害支援にむけた平時からの準備、関係構築



防災・減災のための活動

防災・減災の取り組みの推進。災害が起きたときの被害を最小限にとどめ、回復力をもった地域づくりに取り組む。

- レジリエントなコミュニティづくりを支援
- NGOや各機関と連携して防災教育の実施



発災時の支援

現地の支援活動を調整し、中間支援の役割を担う。

- 各NGO間の調整
- バックオフィス業務やロジスティクス支援の提供



関係構築と強化

平時からの関係構築が災害時の迅速かつ効果的な支援につながる。

- 災害時の迅速な対応体制を事前に構築
- NGO、中間支援組織、政府機関等の協働・連携体制

現地での発見：日本のNGOが果たすべき役割



橋渡し

各ステイクホルダーが参画する事業形成をし、連携を促す。またその役割を明確化する。



域内連携

同地域で活動するNGOのプラットフォームをつくり、情報・リソースを有効活用

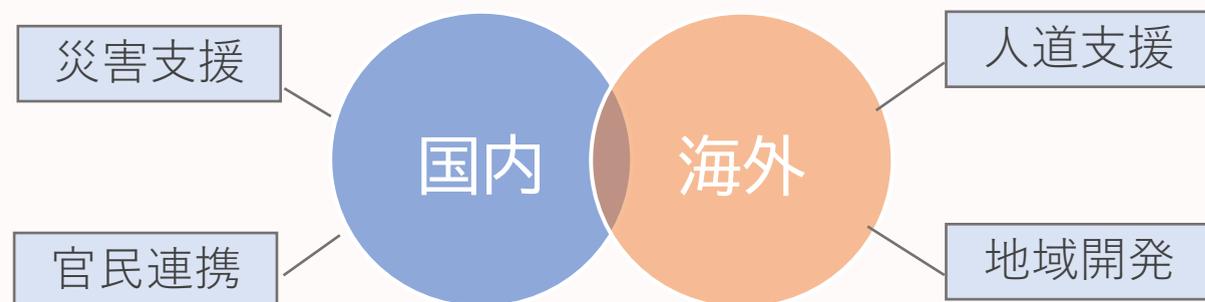
適切な現地パートナーとの連携
既存のプロジェクトや政府の開発計画、国際機関のプログラム等との調整や整合性



自団体/NGOセクターの強化に向けた具体的な提案

1 学びの還元と共有

国内事業と海外事業の知見を共有し
学び合う。
海外事業内でのノウハウの横展開
人材交流



⇒人材・事業の強化

2 連携協働の促進

政府・企業・大学・NGO等
多様なセクターとの連携を強化。
地域のプラットフォーム

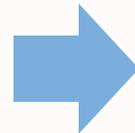


⇒リソースの有効活用

まとめ：国際協力業界に対して

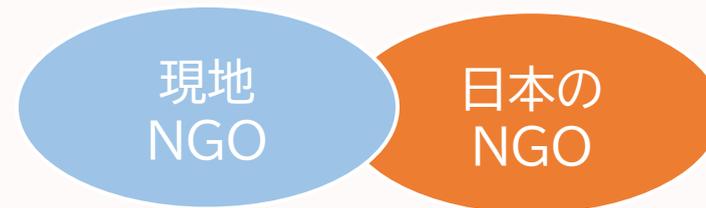
1 現地NGOのエンパワーメント

国際支援を市民に直接届けるために
現地NGOの能力向上は不可欠。



2 政府間協力の補完

市民社会の視点から公的支援を補完し、
支援の効果を最大化。



技術・知識の共有

国際協力の効果を高めるには、政府間協力と並行して、市民社会組織の能力強化が重要だと感じた。
特に太平洋島嶼国においては、国が小さく、政府に支援の受け皿となる十分なリソースがない可能性もある。
現地NGOのキャパシティビルディングを通じて、支援の持続性を高めることが可能なのではないか。

ありがとうございました
Malo Aupito